

# 紙 碑

被爆老人のあかし



原爆ドーム・アオギリ

広島原爆養護ホーム

<http://www.hiroins-net.ne.jp/hirogenen/>



# 紙 碑

— 被爆老人のあかし —

第 五 集

広島原爆養護ホーム



## はじめに

平成十七年は、被爆六十周年・原爆養護ホーム開設三十五周年という大きな節目の年に当たります。当事業団では、この記念事業の一環として、入園されている方々の被爆体験記「紙碑」第五集を刊行することとなりました。

被爆体験記「紙碑」は、入園されている方々の被爆者としての思いや生き抜いてこられた姿を後世に長く伝えていくため、昭和五十六年七月 被爆三十五周年・原爆養護ホーム開設十周年の年に第一集を刊行いたしました。それ以来、昭和六十年に第二集、平成二年に第三集、平成七年に第四集を刊行いたしました。各方面から温かいご支援とご理解をいただいております。

当原爆養護ホームには、毎年、全国の小・中・高校生の平和学習や各地域から多数の方々が入園され、原爆によって困難な生活を強いられた入園者の皆さんから戦争の悲劇、被爆の惨禍等の体験談を聞き取り、平和の尊さ、世界平和の必要性について学習されておられます。

このたびは被爆六十周年を迎えると共に、ホーム開設三十五周年を記念し、また、入園者の方々も年々高齢化し被爆の体験と実状を次世代に伝えていくことが困難になることを考慮いたしまして、核兵器の廃絶と平和な世界の実現を祈り、第五集を刊行することになりました。

入園者の方々は、被爆体験の話をされるたびに悲しい思いをされることと思いますが、核兵器のない平和な世界を願って、今回も多数の方々からご寄稿いただきました。この「紙碑」には、被爆直後の想像を絶する惨状や逃避行動、残留放射能の中を肉親の安否を求め続けられた苦悩の軌跡や原爆の後遺症に脅えながら生き抜いてこられた悲痛の生活史が記され、被災の実相を継承するにふさわしい貴重な体験記として、後世に長く伝えられ、「世界平和」に寄与し得ると確信しております。

第五集の編纂に当たりましては、貴重な被爆写真の提供をいただきました皆様に深く感謝申し上げますとともに、被爆体験の聞き取り、編集作業に多大なるご協力、ご援助いただきました当事業団OB「友の会」の皆様、深甚なる謝意を申し上げます。

鎌 田 七 男

(財)広島原爆被爆者援護事業団理事長

# 「紙碑・被爆老人のあかし」

## 目次

はじめに .....

(財)広島原爆被爆者援護事業団理事長) 鎌田 七男

◆写真提供.....菊池俊吉氏・田子恒男氏  
林 重男氏・松重美人氏  
広島平和記念資料館

### 舟入むつみ園

|                         |             |    |
|-------------------------|-------------|----|
| 忘れられぬ被爆の一日 .....        | 栗屋 輝子 ..... | 1  |
| 雨と一緒に焼けこげた布や紙くずが .....  | 市川ハツエ ..... | 4  |
| 二度としてほしくない戦争 .....      | 岩並 藤枝 ..... | 6  |
| 忘れえぬ職場での被爆 .....        | 大西 千春 ..... | 10 |
| 若き日の苦しみ .....           | 岡本美智枝 ..... | 13 |
| 捜しあてた父は少し前に死んだばかり ..... | 沖 フジコ ..... | 15 |
| 今、生かされて・・・ .....        | 沖本 絹子 ..... | 18 |
| 出 発 .....               | 折見 真人 ..... | 20 |
| 戦争と人生 .....             | 海徳 定一 ..... | 24 |

|                |       |    |
|----------------|-------|----|
| 原爆・戦争は罪です      | 戒能 キワ | 27 |
| 夢中で生きてきた       | 金子カズエ | 30 |
| 学徒動員           | 川野ハルエ | 33 |
| 姑と再三 転居先での苦勞   | 岸副 冬見 | 36 |
| 皆にささえられ今一番幸せ   | 北野シズエ | 39 |
| 親指の怪我は心の大きな傷   | 小山タツエ | 43 |
| あの日の光景を語り伝えたい  | 島谷 松枝 | 47 |
| 原爆のつめあと        | 下田 幸子 | 49 |
| 火の川            | 善家ミチ子 | 51 |
| 平和の大切さ 後生に伝えたい | 添田百合江 | 53 |
| 被爆後の田畑仕事で苦勞    | 高畑 秀子 | 58 |
| 未だ脳裏より離れる事のない  | 田中 一子 | 60 |
| 八月六日の原爆が落ちた瞬間  | 丹田カヅヨ | 62 |
| この世で地獄を見た      | 津川タカコ | 65 |
| 私の人生で一番辛かった思い出 | 二井本胡子 | 68 |
| 今も忘れられない光景     | 橋本ミヨ子 | 70 |
| あの日、あの時        | 波田ヨシコ | 73 |
| 家族を捜し求めて救護所    | 濱崎登志枝 | 76 |

思い出しても恐ろしい惨状 .....

被爆忌の一日 .....

夜になっても赤々と燃える広島 .....

亡き家族・友人を想う今日 .....

街は火の海 .....

藤原 恒雄 .....

二神 三利 .....

松岡 ハルコ .....

右田 繁子 .....

山下 秋子 .....

### 神田山やすらぎ園

今も思い出す火傷の怖さ .....

私の通った道 .....

乳のみ子をおんぶして .....

中村 稔 .....

濱井 八重子 .....

増永 シゲノ .....

### 倉掛のぞみ園

大切な人を喪って .....

戦争があたえた人生の残酷な日々 .....

「ピカール」と光って、「ドーン」と大きな音がして .....

観音様のおかげ .....

命の大切さ .....

ほんの数秒で変わりはてた景色や人々の姿 .....

栗谷 ミツ子 .....

岩本 巖 .....

後河内 キクヨ .....

宇治川 スミコ .....

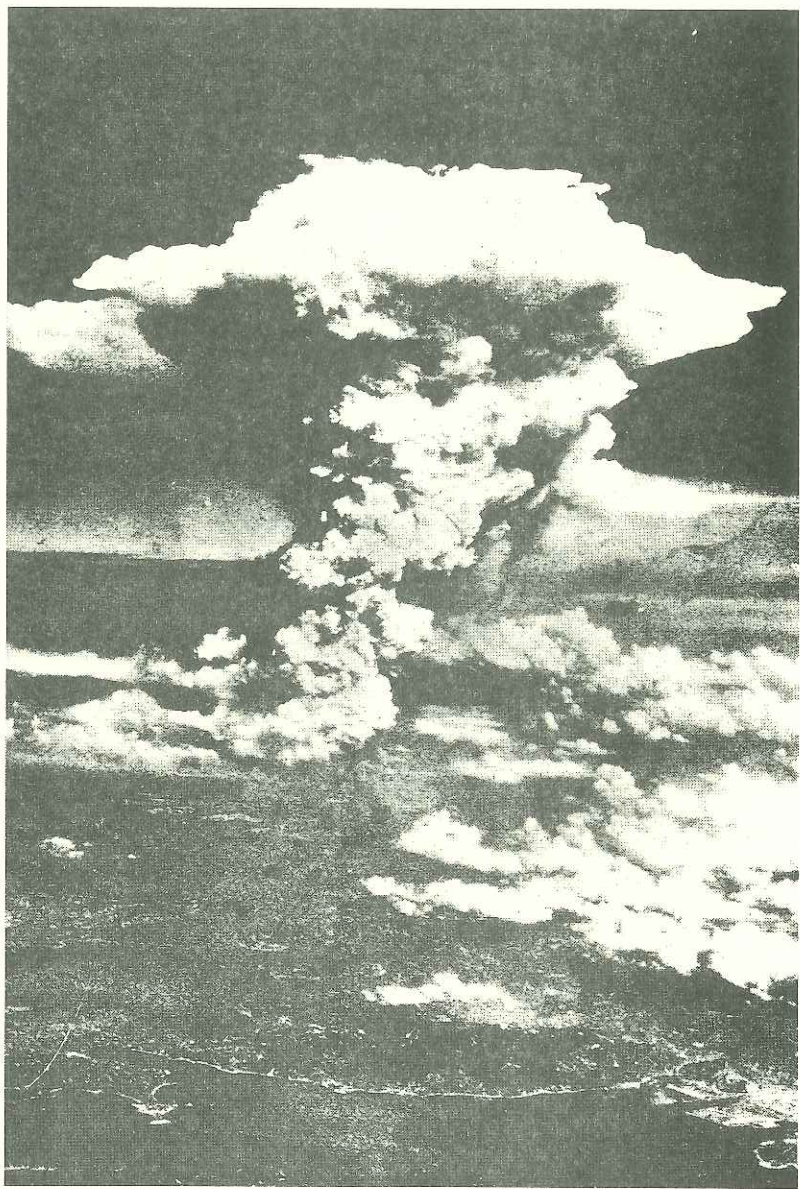
角家 安代 .....

北 喜里恵 .....

|                          |       |       |       |
|--------------------------|-------|-------|-------|
| 原爆は地獄です                  | ..... | 清水 好子 | ..... |
| あれから六十年、今も忘れられない         | ..... | 菅 キクエ | ..... |
| 二度と戦争はしてはいけない            | ..... | 竹之内 武 | ..... |
| 何もかも夢のようで                | ..... | 竹本ハルコ | ..... |
| 原爆が残した後遺症は今も・・・          | ..... | 玉里シゲ子 | ..... |
| きのこ雲と大惨禍                 | ..... | 中野吉太郎 | ..... |
| 被爆体験を伝えることが、私の務め         | ..... | 野村 啓理 | ..... |
| あの戦争が憎い                  | ..... | 藤本ハナコ | ..... |
| 可愛い娘を奪った戦争が憎い            | ..... | 古川ミツヨ | ..... |
| 「8・6」の大惨状、今も心に深く・・・      | ..... | 松岡フサ子 | ..... |
| やけどの痕が今も思い出させるあの大惨事      | ..... | 松谷 巴  | ..... |
| 大地震のように壕が揺れて             | ..... | 森田 年男 | ..... |
| 「二人でしっかり生きていけ」と主人の教えが・・・ | ..... | 矢野フミエ | ..... |

(表紙写真)

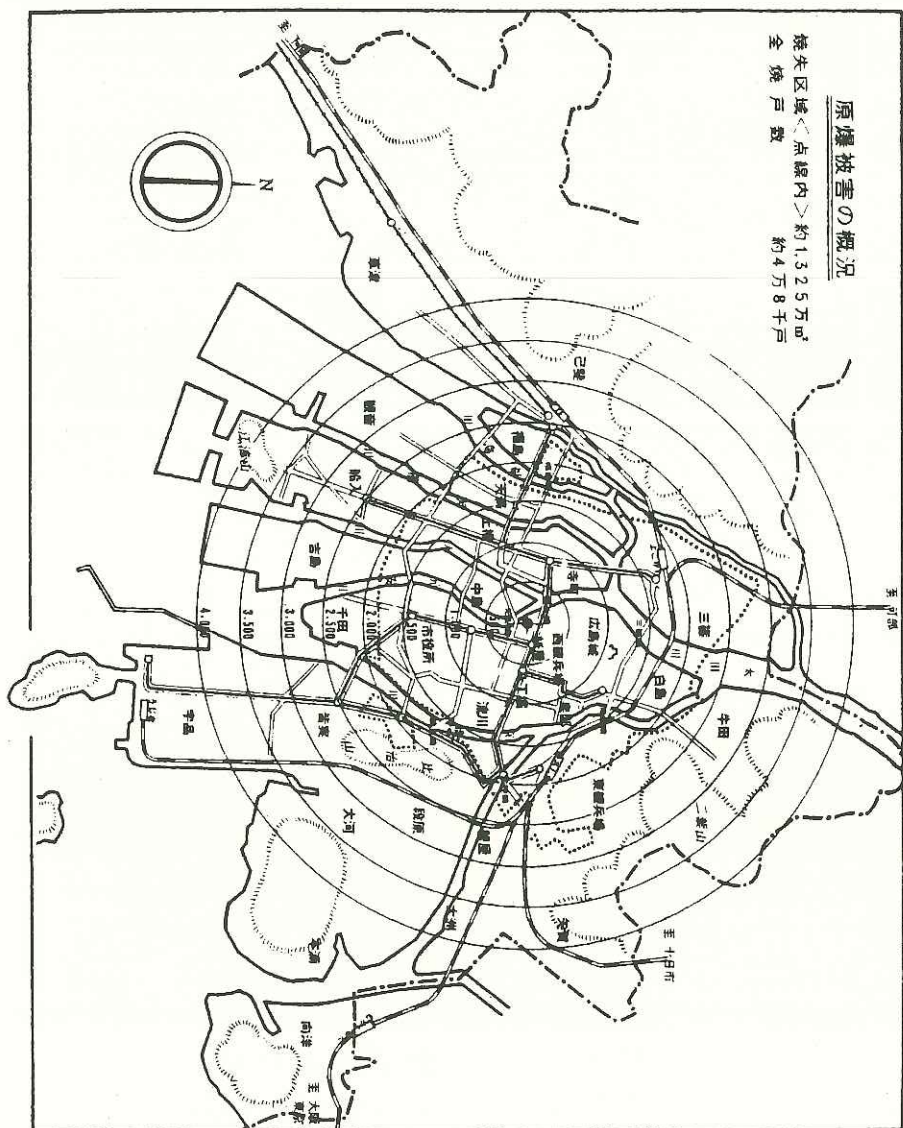
被爆の惨禍を伝える「原爆ドーム」(旧広島県産業奨励館の残骸)と被爆しながらも芽ばえ続け、人々に生きる希望を与え続けてきた「アオギリ」



原爆投下約1時間後の原子雲。爆心地から約80km離れた瀬戸内海上空のアメリカ軍機から撮影。(アメリカ軍撮影／広島平和記念資料館提供)

# 原爆被害の概況

焼失区域（点線内）約1,325万㎡  
全壊戸数 約4万8千戸



# 紙碑・被爆老人のあかし 第五集

平成十七年五月三十一日 印刷  
平成十七年六月 四日 発行

編集者 財団  
発行者 法人

広島原爆被爆者援護事業団

広島市安佐北区倉掛三丁目五〇番一号

印刷 可部プリント社

〒  
731-  
0221

広島市安佐北区可部二丁目三八一三二

電話 (〇八二) 八二二一三六五





